

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年2月20日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	A重油焚炉筒煙管ボイラー、C重油焚炉筒煙管ボイラーからガス焚ボイラーへの更新プロジェクト
承認番号	KC0326
排出削減事業者名	西日本衛材株式会社
排出削減共同実施事業者名	ESカーボンクレジット合同会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	西日本衛材株式会社 本社工場 (住所：兵庫県たつの市龍野町大道566番地)
事業の概要	A 重油焚炉筒煙管ボイラー、C 重油焚炉筒煙管ボイラーをガス焚炉筒煙管ボイラーへ更新する事によりCO2排出量の削減を図る。
排出削減量の計画	2010年度：3,403 tCO2 2011~12年度：5,833 tCO2 2013年度：5,792 tCO2 2014年度：6,108 tCO2 2015~17年度：5,946tCO2 2018年度：2,492 tCO2 (事業実施期間合計 47,299 tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2010年9月1日 終了予定日 2018年8月31日
排出削減方法論	方法論番号001: ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日 ～ 2017年12月31日（第2回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	27,952tCO ₂ (2013年4月1日～2017年12月31日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 本実績報告期間におけるエネルギー使用実績と事業者へのヒアリングにより、対象期間中の設備稼働を確認した。□
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 都市ガス使用量が事業計画どおり個別メーター値を基に集計・算定されていることを確認した。 2) 活動量の正確性 担当部署記録責任者の管理の下、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、個別メーター値により燃料使用量の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを、モニタリング記録の検算と、事業者へのヒアリングにより確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係

	<p>数等は、方法論、J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.2.9、及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。 □□</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2013年4月1日から 2017年12月31日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2018年8月31日となっているため、クレジット認証期間の終了日を超えないことを確認した。 □</p>

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

承認排出削減事業計画からの重要な変更点として、2015年6月にスラッジボイラーが設置されたことが挙げられる。このスラッジボイラーは、本事業のバウンダリー「燃料供給設備（重油タンク、ガスメーター）、ボイラ、バーナーおよびその蒸気使用設備」内における設備付加であるが、この変更により本事業の排出削減方法並びに方法論の適用可能性、排出削減量の算定になんら影響を与えるものではないと判断する。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 1,148.3kL、熱量換算44,506.8GJであることを確認した。

以上